授業科目名： 重複障害教育総論	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 原田公人 担当形態：　単独
実務内容 （実務家教員の場合）			
科　目	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	・心身に障害のある幼児・児童又は生徒の心理・生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児・児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目 （中心領域：重複・LD等領域）		

「学位授与の方針」との関係

DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知）
DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）

授業のテーマ及び到達目標

（１）視覚、聴覚、知的、肢体不自由、病弱を含む重複障害に関する心理・生理・病理について理解する。
（２）重複障害の状態や特性及び心身の発達の段階、特別支援学校の教育実践に即した教育課程の編成の方法とカリキュラム・マネジメントの基本的な考え方を理解する。
（３）視覚、聴覚、知的、肢体不自由、病弱を含む重複障害に関する教育課程・指導法(自立活動を含む)について理解する。

授業の概要

視覚、聴覚、知的、肢体不自由、病弱を含む重複障害に関する心理、生理、病理について理解するとともに、重複障害の状態や特性及び心身の発達の段階、特別支援学校の教育実践に即した教育課程の編成の方法とカリキュラム・マネジメントの基本的な考え方、重複障害に関する教育課程・指導法(自立活動を含む)について学習する。

授業計画
第１回：特別支援教育における重複障害教育
第２回：重複障害児の現状と課題
第３回：重複障害児の理解・実態把握
第４回：「重複障害者等に関する教育課程の取扱い」及び各規定の適用方法
第５回：重複障害に関係する各障害の教育課程・指導法(自立活動を含む)①　視覚障害・聴覚障害
第６回：重複障害に関係する各障害の教育課程・指導法(自立活動を含む)②　知的障害・肢体不自由・病弱
第７回：重複障害の指導　①自立活動
第８回：重複障害の指導　②姿勢・運動に関する指導
第９回：重複障害の指導　③言語・コミュニケーションに関する指導
第１０回：重複障害の指導　④授業づくりとその評価
第１１回：重複障害の個別の指導計画と個別の教育支援計画の作成・活用と評価・改善
第１２回：重複障害教育における教育課程の編成とカリキュラム・マネジメント
第１３回：重度・重複障害の心理・生理・病理と教育課程・指導法
第１４回：重複障害の医療的ケア
第１５回：重複障害における教育、医療、福祉、労働機関等との連携
科目修得試験

スクーリングでの学修

テキスト
樋口和彦編著（2021）、『重度・重複障害児の学習とは？　―障害が重い子どもが主体的・対話的で深い学びを行うための基礎―』ジアーズ教育新社、978-4-86371-578-3
文部科学省「特別支援学校学習指導要領」
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/material/1340250_00001.htm (URL)

参考書・参考資料等

宍戸和成/原田公人（2023）「聴覚障害教育の基本と実践」慶應義塾大学出版会
特別支援学校学習指導要領等（平成29年4月公示・平成31年2月公示）
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/main/1386427.htm
文部科学省初等中等教育局特別支援教育課　『障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～』
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/material/1340250_00001.htm
独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所（2020）『特別支援教育の基礎・基本　２０２０』ジアーズ新社

学生に対する評価

レポート評価（50%）、科目修得試験（50%）